

地元・小川町の気鋭作家が贈る面白最新作

「歩行倫理学」への招待

菊地道夫

「足」と「歩行」に関しての
様々な視点からのアプローチにより
明るみに出た多くの知見を
総合的に解釈したユニーク哲学書

現代日本人の健康問題で欠かせないウォーキングと足の話。二足歩行の人類にとって重要な「足」を、哲学的な見地から多角的に捉える歩行思想書。ウォーキングやトレッキング前のちよつとした時間に読むと、その歩行がより充実すること間違いなし。思想的な話題以外にも、小川町在住の著者が小川町逍遙で見識した小川スポットもコラムで紹介する。

1980年、埼玉県に生まれる。詩人、エッセイスト。
2018年、東京大学大学院数理学研究科博士課程修了。
主な詩集に『時空と生成』『隠れ躑躅の場所』『愛すべき風景』『綴る恋』『寿』『知るといふこと』『菊地道夫詩集 100のポエジー』(2020年刊行予定)、主なエッセイ集に『規範学』『自分教』『主観論』『有名になりたくない症候群』『詩の遍歴』あるひとつの形』などがある。

本書内容



- 第一部 足の健康について**
 - 第1章 「歩く」と「走る」
 - 第2章 足ツボについて
 - 第3章 前へ進め!
 - 第4章 ウォーキングの意味
 - 第5章 スポーツと二足歩行
 - 第6章 「歩く」という物理学
 - 第7章 歩行と認知症
 - 第8章 「幸福」と「健康」
 - 第9章 競歩の謎
- 第二部 足の美について**
 - 第10章 美しく歩く
 - 第11章 フェティシズムとエロティシズム
 - 第12章 絵画に描かれた「足」
 - 第13章 「足」に描く絵画
 - 第14章 靴の哲学
 - 第15章 能の「すり足」について
- 第三部 足の言葉について**
 - 第16章 言語とは何か
 - 第17章 言葉とは概念である
 - 第18章 博物学で「歩く」
 - 第19章 規範学で「歩く」
 - 第20章 歩行倫理学

地元小川町の自然豊かな風情を哲学散歩するふるさとコラム付

「ふるさと」コラム

- ◇大塚八幡神社
- ◇穴八幡古墳篇
- ◇小川町七夕まつり篇
- ◇『万葉集』ゆかりの土地
- ◇下里「芭蕉の句碑」篇

定価(本体 800 円+税)
新書判・並製本・108頁
ISBN 978-4-89623-129-8

哲学書

申込書

「歩行倫理学」

への招待

菊地道夫著
(本体 800円 +税)
ISBN 978-4-89623-129-8

注文数	冊
お名前	
電話番号	
書店名	

まつやま書房 ☎ 0493-22-4162
Fax 0493-22-4460
〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5

問い合わせ先 **まつやま書房**

〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5
Tel.0493-22-4162 Fax.0493-22-4460 <http://www.matsuyama-syobou.com/>